



証券コード 4611 東証プライム



# アジェンダ



1. 会社概要

p.02

2. 成長戦略

p.12

3. 決算概要

p.26





# 大日本塗料とは?



国内塗料売上4位

業歴95年 (1929年創立)

大阪本社の 在阪企業

グループでは LED照明機器も



源流は 島津製作所

インクジェット用 インクも手掛ける

構造物塗料分野 国内トップシェア 三菱広報委員会 所属

## 大日本塗料の概要



社名

大日本塗料株式会社 (略称:DNT) 創立

1929年7月

本社所在地 大阪市中央区 上場市場

東証プライム

決算期

3月31日

単元株数

100株

連結従業員数

2,193名

(2023年3月31日現在)

連結子会社

23社

(2023年3月31日現在)



代表取締役社長 里隆幸

# グループ構成(2023年3月期)



- ✓ 主力の塗料事業で国内外合わせて連結売上高の84%を占める。
- ✓ そのほか業務用LED照明を手掛ける**照明機器**や主に蛍光顔料を扱う**蛍光色材**などをグループにもつ。

### 国内塗料

- ·大日本塗料、日塗化学(製造·販売)
- ・サンデーペイント ほか3社(販売系)
- ・千葉化工 ほか4社 (製造系)

#### 海外塗料

- ・東南アジア (タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア)
- ・中国 ・メキシコ

### 照明機器

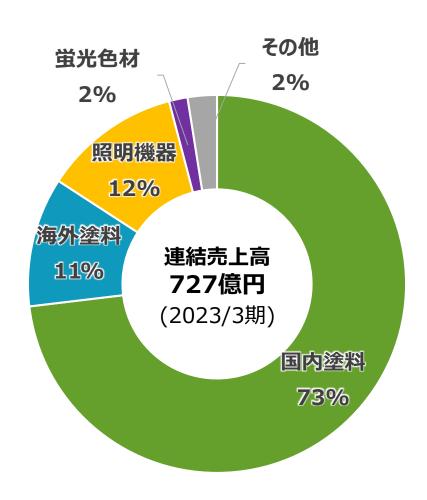
- ・DNライティング(製造販売)
- ・秋田DNライティング(製造)

#### 蛍光色材

・シンロイヒ(製造販売)

#### その他

- ・ニットサービス(物流)
- ・日塗エンジニアリング(塗装工事)

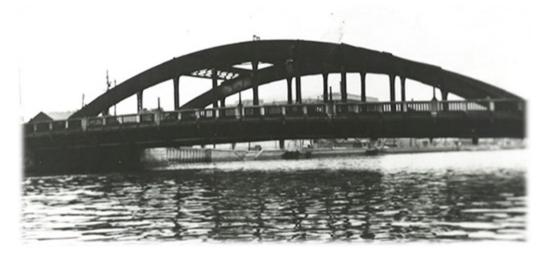


# DNTグループの原点① (塗料事業)



1920年 (大正9年)

二代目島津源蔵が鉛蓄電池に用いる鉛粉の 製造技術「**易反応性鉛粉製造法**」を開発。



大阪·堂島大橋



二代目 島津源蔵 氏

1923年

亜酸化鉛粉錆止塗料「ズボイド」を発明、

(大正12年) 世界8か国で特許を取得。大阪・堂島大橋の改築に採用。

1929年

日本電池(現:ジーエス・ユアサコーポレーション)の塗料部門を分離し、創業。

(昭和4年) 大阪市此花区の塗料会社を買収し、塗料製造事業を開始。

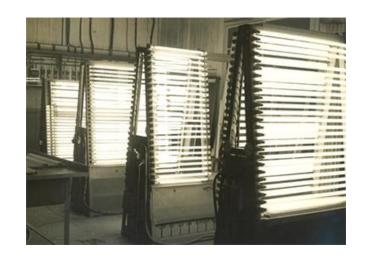
⇒ その後、海軍指定工場になるなど軍需産業とともに成長。

# DNTグループの原点②(照明機器、蛍光色材)



1946年 蛍光塗料の技術を応用した**放電灯**の (昭和21年) 生産拠点として、平塚に工場建設。

⇒ 1977年に分離、現 DNライティング (照明機器)



1958年 (昭和33年)

街頭ディスプレイ等、鮮明な色調の需要が高まり、鎌倉市大船に蛍光顔料・蛍光 塗料の工場建設。

⇒現 シンロイヒ(蛍光色材)

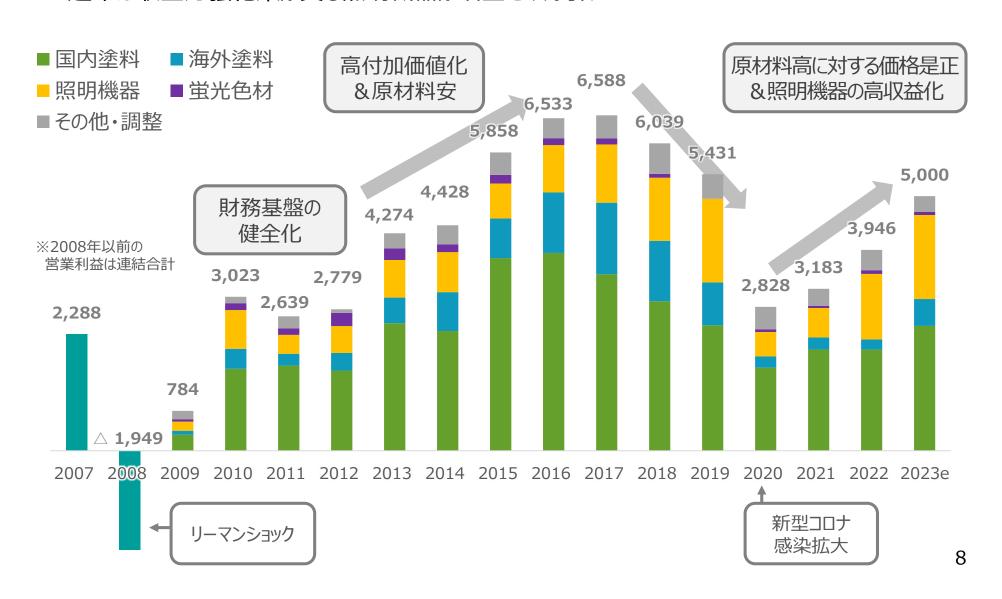
照明機器、蛍光色材ともに塗料技術から派生して形成



## 業績推移(セグメント別営業利益推移)



- ✓ リーマンショック後の収益体質改善により、国内塗料はコロナ禍においても一定の利益水準を確保。
- ✓ 近年は収益力強化策が実る照明機器が増益をけん引。

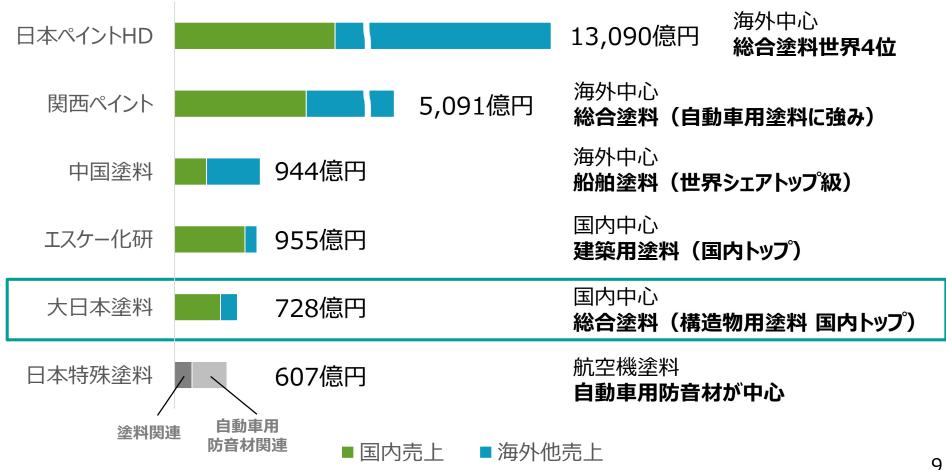


## 大日本塗料のポジショニング



- 国内は大手総合メーカー2社と各領域のニッチトップに二極化。
- ✓ 大日本塗料は売上規模は5位(国内塗料売上は4位)のなか、構造物塗料に強みを持つ。

### 〇2022年度 国内塗料メーカー売上高



## 国内塗料業界の動向(1)



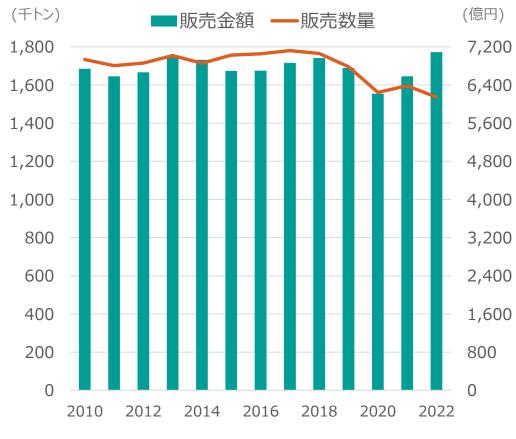
- ✓ 一般用分野は建築用途、工業用分野は自動車用途が主要マーケット。
- ✓ 国内市場はコロナ禍において需要が減少したが、2022年度にはコロナ前の販売金額にまで回復。

### 用途別塗料市場(国内 2022年度)

#### その他 11% 建築 24% 他工業用 18% 般用 工業用 構造物 建築資材 船舶 5% 15% 自動車 自動車補修 他一般 16% 5% 6%

「出展〕日本塗料工業会 統計より当社作成

#### 国内塗料市場の販売金額・販売数量の推移



[出展] 経済産業省 生産動態統計より当社作成

# 国内塗料業界の動向(2)



- ✓ 現場塗装を行う一般用分野では、職人不足が深刻化。次世代への技術伝承にも懸念。
  - ⇒ 塗装工程の省人化や省工程化、簡易化が課題

#### ○建設業就業者の減少

	1997年	2020年
建設業就業者	685万人	492万人(△ <b>28%</b> )
うち技能者	455万人	318万人(△ <b>30%</b> )

### ○建設業就業者の高齢化

2020年	29歳以下	55歳以上
建設業	12%	36%
全産業	17%	31%

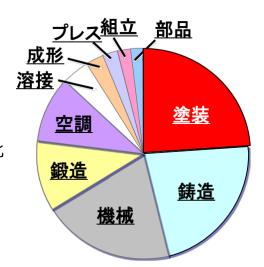
[出展] 最近の建設業を巡る状況について【報告】 (国土交通省)

✓ 工場ラインで塗装される工業用分野においては、製造工程の中でも塗装工程はCO₂排出比率が高く、塗料の水性化・粉体化や、塗装工程の短縮によるCO₂排出量の削減が求められている。

### 〇自動車業界 工程別CO<sub>2</sub>排出量割合

### 約25%が塗装工程

[出展] 自動車製造業における地球温暖化 対策の取り組み(一般社団法人 日本自動車工業会、一般社団法 人 日本自動車車体工業会)



自動車業界における環境への 取り組みが他産業へ波及

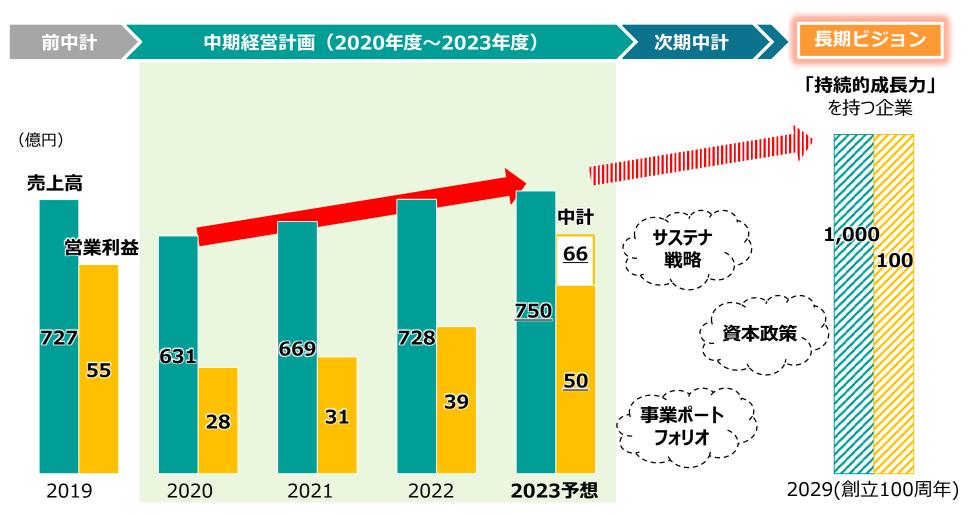




## 中期経営計画



- ✓ 長期ビジョンとして「持続的成長力を持つ企業」をあるべき姿として掲げ、その具現化したかたちとして創立100周年を迎える2029年度に売上高1,000億円、営業利益100億円を目指す。
- ✓ 次期中計では資本戦略やサスティナビリティ戦略を踏まえたトータルな事業戦略を実行していく。



# 事業戦略:国內塗料事業(1)一般用分野



強み 特徴

- ✓ 被塗物を長期的に保護する重防食技術に強み。→ 構造物用塗料は国内トップシェア
- ✓ 塗装現場のニーズに沿った製品開発や市場開発により、常に業界をリード。

## 暮らしを支える鋼構造物の"超"寿命化



厚膜型重防食塗装により、数十年間にわたり 鋼構造物を保護。

VOC排出量を最大約31%削減、環境対応も抜群。

## 土木建設業の課題に応える製品開発



省工程防食シート工法「メタモルシート#1」

- ✓ 担い手不足
- ✓ 労働時間規制
- ✓ 技術伝承

「塗る」から「**貼る**」で 工程の短縮&簡易化

# 事業戦略:国内塗料事業(2)工業用分野



強み 特徴 ✓ 様々な塗装環境を備えるコーティング技術センターにおいて、工場ラインを模したテスト 塗装やデザイン性の改善提案など、ユーザーへの価値提供力を強化。

### ニーズに沿った塗装システムの提供

### 複合的な塗装システムをユーザーカスタマイズ



スプレー塗装



インクジェットプリント



粉体塗装(焼付塗装)



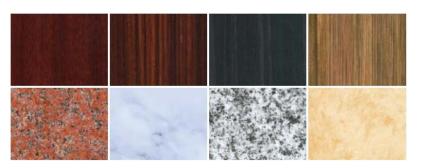
インモールドコーティング

## 耐久性を備えたカラーテクノロジー

#### 多様なデザインをあらゆる産業用途へ展開



西武鉄道 特急「Laview」高輝度金属調塗料



塗料とインクを組み合わせたデジタルコーティング

# 事業戦略:国內塗料事業(3)新規分野



強み 特徴

- ✓ 塗料分散技術の応用から、20年以上にわたり異方性貴金属ナノ粒子の研究を行っており、銀ナノプレートや金ナノロッドの安定的な合成技術を有する。
- √ 貴金属ナノ粒子のライフサイエンス分野への展開に向け、島津製作所と共同研究。

業 大日本塗料株式会社

「異方性貴金属ナノ粒子」

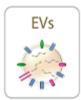
X

**SHIMADZU** 

「ライフサイエンス」



Exorapid-qIC 細胞外小胞用イムノクロマトキット(CD9)



細胞から分泌され、細胞由来 の様々な情報を含む粒子 「細胞外小胞」



インフルエンザウイルスなどの 診断キットでよく用いられる

イムノクロマト方式

で検出可能に! (簡易化)



**医療・医薬**分野における 研究を後押し

## 事業戦略:海外塗料事業



強み 特徴

- ✓ 当社グループの海外セグメントは自動車部品用塗料が販売の過半を占める。
- ✓ 製造~開発~営業戦略と国内と連携し、成長市場と位置付け事業拡大を図る。

## タイにおけるユーザー向け技術対応強化



東南アジアにおける開発拠点化

技術部の組織再編、分析機器・試作設備 の導入による機能強化



### ○東南アジア・中国エリア

- ✓ 自動車部品用塗料は タイを中心に顧客フォローの 強化を推進
- ✓ 金属建材向けなど 粉体塗料の販売を強化

### 〇北中米エリア

- ✓ **自動車部品用**塗料を 展開
  - ⇒非日系メーカーとの 取引拡大に注力



# 事業戦略:照明機器事業(1)





- 豊富な製品ラインナップやニーズに沿ったカスタマイズ対応、施工までの一貫提供が高く評価。
- ✓ 汎用品ではなく、百貨店の店舗照明などの高級志向の照明機器において高シェアを有する。

## 優れたデザイン表現力



意匠照明·天井間接照明

円と曲線で表現された間接照明とライン照明に よりユーザーニーズである先進的なイメージを演出

### デザイナーからの高い評価



### プロダクトオブザイヤー2023・準グランプリ受賞

デザイナー約450名による審査により、幅5mmの 極細LEDモジュール「MU-LED」が準グランプリ受賞

# 事業戦略:照明機器事業(2)



### 優れた製品を生かすマーケティング









### マーケティングを通じたファンの獲得

セミナーや製品説明会の開催、展示会出展、 デジタルマーケティングを通じて、 **ブランドカの向上**を推進

### 更なる成長力強化に向けた投資



### 技術センターや物流センターを内包した新本社

現在建設中の新本社では、更なる成長力の 獲得に向け、生産工場、研究開発拠点、 物流倉庫を配置予定

# 事業戦略: 蛍光色材事業 / その他事業



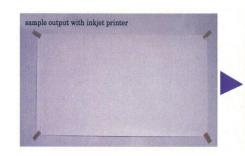
## 強み 特徴

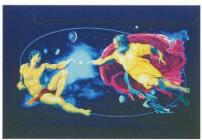
✓ 蛍光顔料は国内寡占状態。





視認性の高い蛍光色の特徴を生かし、 ファッション業界から安全対策用途まで 幅広く活用





ブラックライトを当てると浮かび上がる **インビジブル顔料**は大型イベントへの採用も!

## 強み 特徴

✓【物流】塗料物流で培った危険物 輸送・保管ノウハウ。



## 強み 特徴

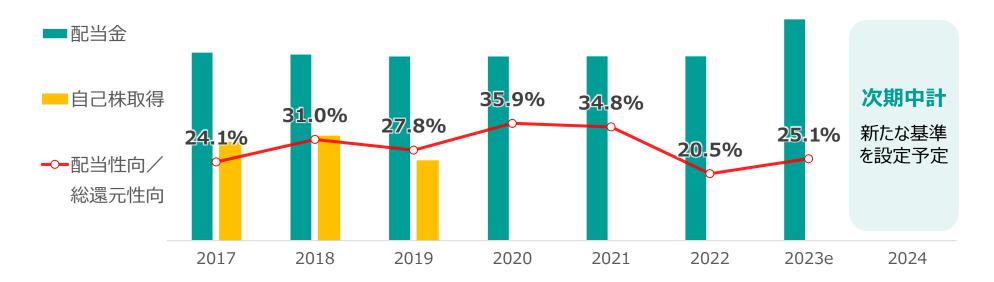
✓【塗装工事】施工、管理、塗膜 保障、責任施工体制を確立。



# 株主還元 ①配当



- ✓ 2023年度決算における配当は、5円増配の1株当たり30円の予定。
- ✓ 2024年度以降については、次期中期経営計画のなかで資本コストや株価を意識した経営を 踏まえて、方針や基準とする指標について検討中。



一株あたり 配当	25円	25円	25円	25円	25円	25円	30円
自己株式 取得額	379百万円	402百万円	308百万円	_	_	_	_

## 株主還元 ②株主優待



✓ 2022年度決算より、中長期保有の株主拡大を目的として、継続保有年数と保有株式数を 組み合わせた株主優待制度に変更。

		継続保有			
		1年以上3年未満	3年以上		
保有	100株 以上 1,000株 未満	カナ世 だっまれ 1000 Paralym Art で 1,000円分 QUOカード 1,000円分	DNT 大日本連和 N 0 5 10 20  Paralym Art 原が・オアートを応復しています  QUOカード 2,000円分		
保有株式数	1,000株 以上	PATALYM Art Rish オートを応援しています  QUOカード 3,000円分	にれまが地球を観3		

- ※1 対象株主は、毎年3/31現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株以上を1年以上継続保有する株主
- ※2 上記のQUOカードのデザインは昨年のものです。デザインには、当社が障がい者の自立支援として協賛している「パラリンアート」より、【工房はんど yu-ma】様の作品を使用させていただきました。

## ESGに関する取り組み(E:環境①製品開発)



- ✓ 塗料配合や塗装工程などを考慮した環境対応製品を当社独自に定義。
- ✓ 塗料を用いる作業者の皆さまや塗料ユーザーに対して配慮した製品開発に注力。

### 素地調整軽減剤

防食塗装を施す際に重要な"素地調整" 「削る」→「塗る」に!

『サビシャット・サビシャットスプレー』



◎ 動力工具で削る作業を軽減でき、粉塵や 騒音の発生を抑制

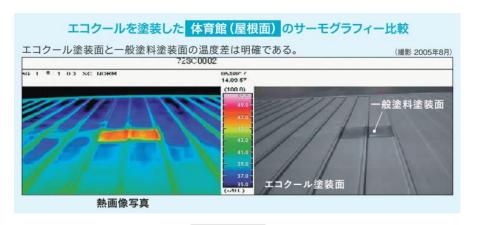
周辺環境や作業者への配慮

○ スプレー化により、作業性が劇的に改善 作業の簡易化&時短に貢献

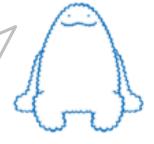
### 遮熱塗料

屋根や外壁に塗装することで、光の高反射、熱の高放射作用を付加し、遮熱効果をもたらす塗料

### 『エコクールシリーズ』



建物の温度上昇を抑制=省エネ効果



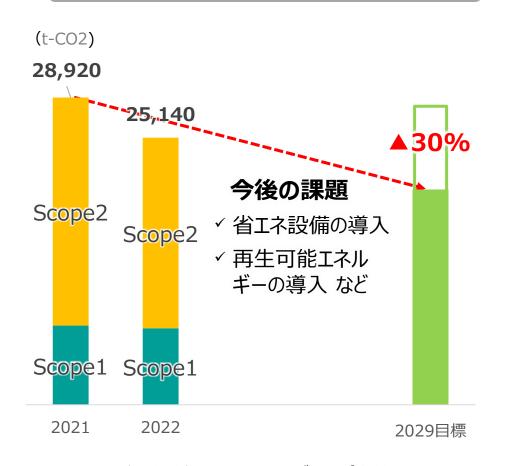
# ESGに関する取り組み (E:環境②排出量削減)



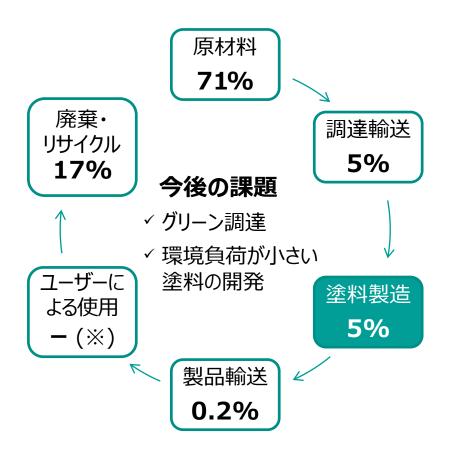
✓ 2029年度までに2021年度基準でScope1,2のCO<sub>2</sub>排出量を30%削減するグループ目標を設定

### Scope1,2におけるCO2排出量推移

## 塗料の製品ライフサイクルCO2排出量



集計対象範囲: DNTグループ全社



※ユーザーによる使用時におけるCO<sub>2</sub>排出量は算定 困難なため算出せず

# ESGに関する取り組み(S:社会/G:ガバナンス)



✓ 地域社会との共生や従業員との関わりの充実化、ガバナンスの強化によりESG経営を全面的に 推進。

### 地域社会との共生



### 此花区のSDGsイベントへの塗料提供

長年本社をおいた此花区が実施した郵便ポストを 17色のSDGsカラーに塗装するイベントに塗料提供

### 従業員との関わり

### 人的資本経営に向けた社内環境整備

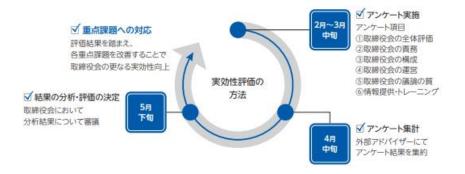
- ・女性従業員の積極採用
- 男性の育休取得率64%(2022年度)

### 政策保有株式の縮減

✓ 2025年3月末までに政策保有株の 純資産比率10%未満を目指す。

### 取締役会の実効性強化

- ✓ 独立社外取締役3名(うち女性1名)
- ✓ 取締役会の実効性評価の実施 および概要の公表(統合報告書)







## 業績ハイライト



### 売上高は、国内塗料における不適切事案もあり、やや弱含みの推移

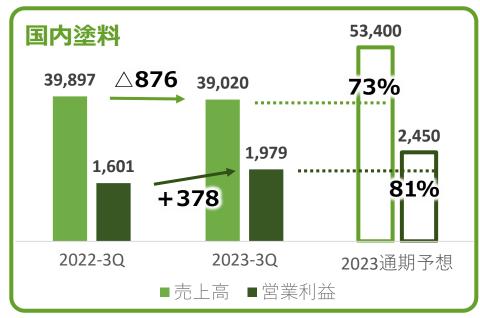
営業利益は、収益性の高い照明機器事業の好調な推移により、現時点では通期予想を達成 する見通し

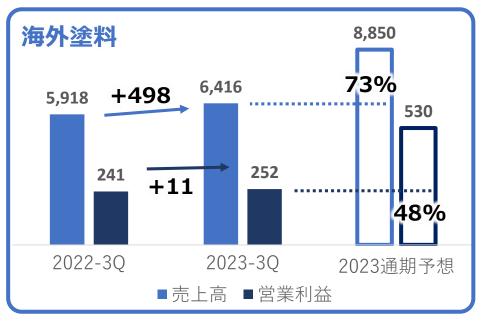
(単位:百万円)

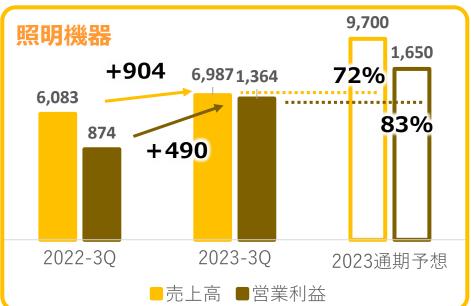
	2022年度	2023年度	前年同期比		2023年度	
	3Q累計実績	3Q累計実績	増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	54,122	54,782	+ 660	+ 1.2%	75,000	73.0%
営業利益	3,035	3,931	+ 895	+ 29.5%	5,000	78.6%
(営業利益率)	(5.6%)	(7.2%)	(+ 1.6%)	-	(6.7%)	-
経常利益	3,283	4,271	+ 988	+ 30.1%	5,200	82.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,185	2,728	+ 543	+ 24.9%	3,400	80.3%

## 主要なセグメントの状況





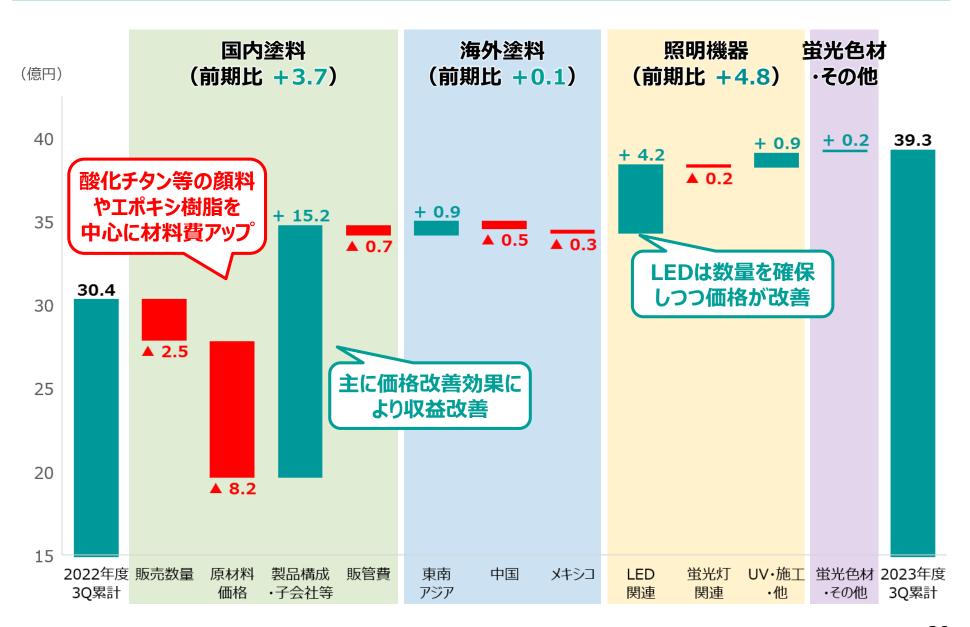




- ✓ 国内塗料は、数量面が弱いものの**価格改善** が浸透し、利益面は堅調な推移
- ✓ 海外塗料は、中国・上海工場のクローズに 伴い損失を計上し、今期の利益計画達成は 厳しい状況(現在までにクローズ完了)
- ✓ 照明機器は、数量、価格ともに堅調4Qは需要期であり売上高も計画達成圏内

# 営業利益の前年同期比増減(2023年度3Q累計)





# 貸借対照表



(単位:百万円)

	2023年3月末	2023年12月末	増減額
流動資産	38,604	40,709	+ 2,105
現金及び預金	6,864	7,791	+ 926
受取手形、売掛金及び契約資産	19,293	19,328	+ 35
棚卸資産	11,141	11,815	+ 674
その他流動資産	1,304	1,773	+ 468
固定資産	54,200	57,319	+ 3,118
有形固定資産	25,545	26,345	+ 799
無形固定資産	445	825	+ 380
投資その他の資産	28,210	30,148	+ 1,938
資産合計	92,805	98,028	+ 5,223
負債合計	37,594	39,843	+ 2,248
(借入金残高)	(5,000)	(7,100)	(+ 2,100)
純資産合計	55,210	58,185	+ 2,974
負債純資産合計	92,805	98,028	+ 5,223

# 本日はありがとうございました



### 見通しに関する注意事項

本資料には、業績見通しおよび事業計画等を記載しております。

それらにつきましては各資料作成時点においての経済環境や事業方針等の一定の前提に基づいて作成しております。

したがって、実際の業績は様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果 となりうることをご承知おき下さい。

### ○公式SNS

当社は公式SNSを開設しております。 製品や採用事例のご紹介など、皆様に大日本塗料の ことを、より知っていただける情報を発信してまいります。

- <u>https://www.instagram.com/dainippon\_tory</u> <u>o\_official/</u>
- https://www.youtube.com/channel/UCQU09 EjLkUi-CPNXuZxfWjA
- https://www.facebook.com/dainippon.toryo.official



# 大日本塗料株式会社

**〒542-0081** 

大阪市中央区南船場1丁目18-11

Tel: 06-6266-3100(代表)

公式HP: <a href="https://www.dnt.co.jp/">https://www.dnt.co.jp/</a>

マガジンサイト: <a href="https://www.e-dnt.jp/">https://www.e-dnt.jp/</a>

Mail: dnt-sou@star.dnt.co.jp